

まちの話題

民生委員の功績を讃えて

民生委員・児童委員として多年にわたり地域社会福祉の向上に尽力された方々が北海道渡島総合振興局長表彰（社会事業関係功労者）を受彰されました。

■受彰者（敬称略）

一ノ瀬 喜久恵（大磯）
五十嵐 幸一（赤神）
中村 ヒデ（月島）



道内で定住自立圏を形成

このたび、渡島・檜山管内の18市町が函館市を中心市とする「定住自立圏」の形成に関する協定を交わしました。

これは、函館市が中心となり医療や観光、交通など様々な分野で互いに連携し合い、住民が安心安全に暮らすことのできる圏域をつくるためのものです。

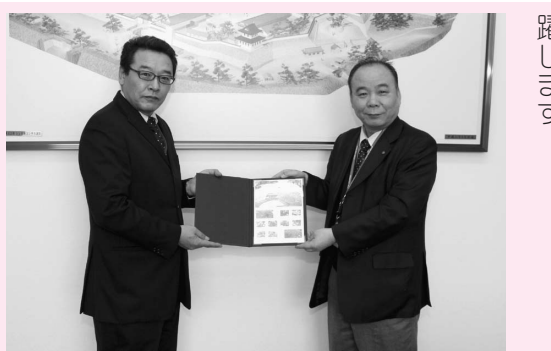


切手で松前の桜をPR

松前郵便局（局長・斉藤正雄）が松前の桜のオリジナル切手フレームを作成し、町へ寄贈しました。

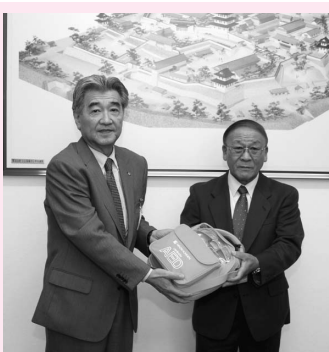
これは、同局が毎年作成しているもので、今年は「松前古城と桜〜最北の城下町〜」と題して、夫婦桜や血脈桜、御衣黄、白絹など10種類の桜を切手にしました。

切手フレームは、5月14日まで松前公園内に設置される臨時郵便局で販売され、松前の桜のPRのために活躍します。



AEDが寄贈されました

このたび、松前町建築業協会（会長・小川陽一）から町内の小中学校5校にAED（自動体外式除細動器）が寄贈されました。



また、株式会社道南土木（江差町）からは、町にAED1台が寄贈され、このAEDは、江良町民体育館に設置されます。



なお、両者には、町長から感謝状が贈られました。

町民が夫婦の手紙を審査

4月13日、町民総合センターで「第7回夫婦の手紙全国コンクール」の審査会が行われました。

今回のコンクールには、全国各地や海外から690通の作品の応募があり、町民約110名が審査員となって最優秀作品など10点を決定しました。

なお、審査結果は、5月6日に夫婦桜前広場で行われる公開発表会で発表されます。（広報6月号にも掲載します。）

